

令和7年度

# 奈良市立看護専門学校

## 推薦入学試験問題

### 現代の国語・言語文化

試験時間 50 分（問題 1～17）

#### 注意事項

1. 試験開始の指示があるまで問題を開いてはいけません。
2. 机には、受験票、筆記用具以外のものを出してはいけません。
3. 係員の指示に従って、**下欄及び解答用紙に受験番号と氏名を記入**し、解答用紙の受験番号欄をマークしてください。
4. 解答方法：選択肢(1～5)から**正解を一つ選び**、解答用紙の解答欄の該当番号をマークしてください。二つ以上マークした場合には誤りとなります。
5. マークは解答用紙の「マークの方法」の「良い例」のように濃く、はっきりと塗りつぶしてください。「悪い例」では採点されない場合があります。
6. 試験中に問題の印刷不鮮明等に気付いた場合は、手を挙げて係員に知らせてください。なお、問題の内容に関する質問にはお答えできません。
7. 問題の余白はメモ等に使用して構いません。
8. この問題冊子は回収します。持ち帰らないでください。

受験番号

--	--	--

氏名

--

**第1問** 次の文章を読んで、後の各問いに答えよ。

平凡だと思われるほどすりへることのない一つの真実がある。それは、一人一人のひとが、自分のまともに生きようとする願望について不屈であることである。過去の文学談では、こういう問題は、文学以前のことという風に扱われる習慣があった。いまでも、そういう流儀はのこっている。しかし、それは間違っている。

わたしたちが、ほんとにこの社会でまともに生きようとするとき、現実とその願望との間にはたちまち摩擦がおこって、いやでも応でも私たちに、自分のこの社会での立場、(ア) 属している階級の意味を目ざまさせる。勤労して生きているものの人生の内容と、徒食<sup>(注1)</sup>生活の男女の生活内容の絶対のちがいは、一つの恋愛小説を読めば、(イ) している。二十四時間を、八時間から九時間以上職場にしばられ、千八百円でしめつけられつつ家族の生活をみている正直な勤労者の青春にとって、きょうの猟奇小説と、ロシアの人民が暗黒のなかに生を苦しんでいた時代のドストイェフスキーの世界は、何を与えるだろう。しかし、偶然は、そういう作品をもある休みの日の夜、人々の手にとらせるのだ。その人は、何の気もなしに読む。そして何と思うだろう。どんな感じがしただろう。㉠

勤労して生きるすべての人の新しい文学の胎動と可能のめざめは、この単純な、どんな感じがしたか、というところに源泉をもっているのである。読ますことは読ますが、どうも。そういう感じもある。ドストイェフスキーってなるほど大したものらしいが、しかし、カラマゾフの世界が、これからの現実に再びあるとしたらどうだろう。社会の歴史は、どっち向きに動くはずのものなんだろう。そういう疑問もあり得る。㉡

どれも、文学の作品批評とは言えないかもしれない。そんなにまとまっていはいない。だけれども、どだい文学というものは、非常に複雑な世界の底を、びっくりするほど単純で、しかもまじりけなもので支えられているのがその本質である。それは、どうしてだろう？ という疑問と、何故？ という問いかけである。バルザックの世界、トルストイの世界、小林多喜二の世界の底に、一つの、どうして？ が存在する。㉢

きょう作品を読む人々は、(ウ) 自分が現代の日本の現実の中に働いて生きるものとして生きているという社会的な本質にたつて、まともに生きようと欲している、という人生のテーマと、そこにある感覚をしっかりとって、ふれる文学作品の一つ一つについて、心にひきおこされる直感的な判断を大切に保って、それを社会的に文学的に成長しつつ深め展開させて行ってこそ、はじめて、その人としての文学が生れるめどがつかまれて来る。そういう心で読んでみれば、古典から現代作家の、国内国外のあらゆる作家が、それぞれに見事な業績をのこしながらも、ほんとに自分の言いたいこと、あらわしてみたい心、描きたい情景だけは、誰も書いていないことを見出して、どんなおどろきと、新しい世界の発見にうたれるだろう。㉣

(エ) 多くの文学作品を読んだあと、人はやがて自分で書くようになる、という事実は、決してただ書きかたがわかった結果ではない。他の人々が精神こめて、一生かかって芸術化した世界は、これほどどっさりあるのに、こんな小さい自分の人生であっても、やっぱりほかの誰にも書かれていず、自分しか書けないことがあるのだ、という発見こそ、その人を謙遜な勇氣にふるいたたせ、人生の豊かさや人間社会の歴史の貴重さに感動させる。歴史が前進しないものなら、過去の天才は文学のテーマを書き尽くしてしまえたらう。その人が自分の社会的・階級的な人生を発見したからこそ、そこにおこるすべてのことの人間らしい美醜、悲喜の歴史的意味を知り、自分をもある時代の階級的な人間の典型として、客観的に描き出してゆく歓喜を理解するのである。㉤

(オ) わたしたちの人生と文学の偶然はこうして、偶然から意味ふかい必然に移ってゆく。リアリズムは、人間の生きる社会とその階級の歴史と個人の複雑な発展の諸関係を、社会の歴史と個人の諸要因の総合的な動きそのものの中で現実的につかもうとする本質によって、文学の最も強固な手法である。(カ) リアリズムが人間の芸術表現にとって大地のような性質だということは、すべての架空な物語、幻想をとりあげてしらべてみるとわかる。どんな虚構、どんな作為のファンタジーにしても、それが文学として実在し、読者の心に実在感をもって受け入れられるためには、力をつくして、そのファンタジーや、ディフォーメーション<sup>(注2)</sup>にそのものとしての現実性を与えることに努力しているのである。(宮本百合子「新しい文学の誕生—若い人に贈る—」による)

(注) 1 徒食：働かず遊び暮らすこと 2 ディフォーメーション：造形美術などで、形態を意識的に変形すること。デフォルメ

問題 1 次の文は本文の一部である。最も適当な挿入場所はどこか。文中の(A)~(E)のうちから一つ選択せよ。

この根本的な疑問を、それぞれの作家が、どんな歴史の見かたで、どんな歴史のなかで、どんな階級の人として、どんな方法で追究し、芸術化して行ったかが、作品形成の一つの過程である。

- 1 (A)                      2 (B)                      3 (C)                      4 (D)                      5 (E)

問題 2 下線部 (ア)「属している階級の意味」は本文中でどのような意味で用いられているか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 小説をよく読む文化的な生活のあり方
- 2 歴史的に最も重要な現代人の立場
- 3 徒食生活を送ることができる裕福な身分
- 4 毎日働くまともな生き方
- 5 貧しい勤労者としての社会的地位

問題 3 空所 (イ) に当てはまる語句として最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 堂々と                      2 延々と                      3 淡々と                      4 まざまざと                      5 はきはきと

問題 4 下線部 (ウ)「自分が現代の日本の現実の中に……まともに生きようと欲している、という人生のテーマ」とあるが、どういうことか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 複雑な現代社会の単純な本質を知ること、誠実な人生を送ることができる考えること。
- 2 日々の苦しい勤労を強いる社会の実態を認識しながら、それに抗<sup>あ</sup>って立派に生きたいと願うこと。
- 3 豊かな生活を送るには、ある程度苦勞して働かなくてはならないということ。
- 4 勤労者は、自らの生き方を自覚することで社会的成功を収めることができるということ。
- 5 作品を読むときは、現実社会との関係を考察することで自分の人生に役立てられるということ。

問題5 下線部(エ)「多くの文学作品を読んだあと、人はやがて自分で書くようになる」とあるが、それはなぜか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 現代社会の中の自分の立場を認識しながら、既存の文学を受容していくことで、オリジナルな内容を見つけるから。
- 2 従来作品と社会の実情を詳しく調査することで、いまだに書かれたことがない題材やテーマを発見できるから。
- 3 歴史の前進にともなって過去の作品は古臭くなるため、現代の自分の人生のほうが斬新な内容だと考えられるから。
- 4 作品を読み続けるうちに既存の文学への疑問が積み重なり、自分の批判を発表したいと思うから。
- 5 幅広い作品に触れることで小説を書く技術が自然と身につく、それが自信につながるから。

問題6 下線部(オ)「わたしたちの人生と文学の偶然はこうして、偶然から意味ふかい必然に移ってゆく」とあるが、それはどういうことか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 文学との出会いは一見偶然に思われるが歴史的・社会的に決まった運命だとわかるということ。
- 2 偶然に読んだ作品から感じたことは必ず自分の人生にいかされ、新しい世界の発見につながるということ。
- 3 思いつきで書いた小説でも、文学の歴史の中に位置づけられ意味をもつことは感動的だということ。
- 4 歴史的・社会的に規定された自己への自覚が、何気ない文学との出会いにより新たな文学の創造に結びつくこと。
- 5 文学に触れ、自ら書くことにより、偶然に満ちた人生に歴史的必然性を見出すことができるということ。

問題7 下線部(カ)「リアリズムが人間の芸術表現にとって大地のような性質だ」とあるが、それはなぜか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 すべての芸術は架空のものなので、リアルでなければ現実世界に対抗できないから。
- 2 リアリズムは、歴史や社会の必然が個人の人生を完全に支配していることを冷徹に描くから。
- 3 歴史や社会と個人との交錯した関係を広い視野でありのまま描き出すのがリアリズムだから。
- 4 読者は、ファンタジーの世界さえも自然とリアルなものとして受け入れるようになるから。
- 5 リアリズムは、階級社会の複雑な歴史を単純化し、臨場感のある虚構として語り直すから。

問題8 本文の内容と合致するものとして最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 ドストイェフスキーの小説よりも、最新の猟奇小説のほうが読者に受け入れられやすい。
- 2 新しい文学を創造するには、他人の作品から率直に感じたことを発展させていく必要がある。
- 3 徒食生活をしている人々の文学は、働いている人々の文学よりも洗練されている。
- 4 自作において自分のことを特定の時代と階級の中に位置づけるには、主観的な感情が重要である。
- 5 小説家は、「どうしてだろう？」という一つの疑問を創作の基盤とし、作品の中で答えを提示する。

第2問 次の各問いに答えよ。

問題9 下線部に示す漢字の読み方が正しいものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

- (1) 1 賠償 (ばいしょう) 金を請求される。  
2 歴史の変遷 (へんかん) を調べる。  
3 同僚の判断は妥当 (じょとう) 性に欠ける。  
4 契約書に押印 (おしいん) する。  
5 所期の目的を完遂 (かんつい) する。
- (2) 1 彼から議案に賛成するとの言質 (ごんしつ) を取った。  
2 不正取引を画策 (がさく) する。  
3 汎用 (ぼんよう) 性の高い機器を用いる。  
4 多くの住民が犠牲 (ぎせい) となる。  
5 大臣の更迭 (こうそう) を発表する。
- (3) 1 彼女は幼少時代からの知己 (ちか) だ。  
2 争いの原因 (げいいん) を突き止める。  
3 利潤 (りじゅん) を優先して考える。  
4 住宅が東南の角地 (かくち) に建つ。  
5 新聞を無造作 (むぞうさく) に置く。

問題10 下線部の漢字が正しいものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

- (1) 1 状談 (じょうだん) を言って笑う。  
2 大学で哲学 (てつがく) を学ぶ。  
3 総索 (そうさく) が難航を極める。  
4 体操着を先濯 (せんたく) する。  
5 偉言 (いごん) 書を作成する。
- (2) 1 野球チームに新しい官督 (かんとく) が招かれる。  
2 危妙 (きみょう) な出来事が起こる。  
3 彼は年来 (ねんき) が入った職人だ。  
4 自道 (じみち) な活動が実を結ぶ。  
5 桜吹雪 (ふぶき) が辺り一面を覆う。
- (3) 1 愛色 (あいいろ) とは、青より濃く、紺よりは薄い色だ。  
2 古い木材を徹去 (てつきょ) する。  
3 長袖 (ながそで) シャツを持参する。  
4 祖母の両脇 (りょうわき) を抱えて歩く。  
5 怠駄 (たいだ) な生活を続ける。
- (4) 1 用紙の粹内 (わくない) に印をつける。  
2 浅瀬 (あさせ) で泳ぐ子どもを発見する。  
3 部屋の正頓 (せいとん) を心がける。  
4 休計 (きゅうけい) 時間に音楽を聴く。  
5 大雨で国道が完水 (かんすい) した。

問題 11 次の下線部と同じ漢字を使うものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

- (1) 家賃を両親に依ソンする。
- 1 ソン害保険に加入する。
  - 2 現行の制度をソン続させる。
  - 3 子ソン繁栄を祈願する。
  - 4 基本的人権をソン重する。
  - 5 農ソンの人口が減少する。
- (2) 経営の失敗で社長を辞ニンする。
- 1 ニン娠中の飲酒は避けた方が良いとされている。
  - 2 担当省庁よりニン可が下りる。
  - 3 残ニンな行為から目をそらす。
  - 4 彼女は劇団一のニン気者だ。
  - 5 議会に委ニン状を提出する。
- (3) 歴史のハイ景をひもとく。
- 1 ハイ水ポンプを設置する。
  - 2 法律のハイ止が決定される。
  - 3 郵便物を集ハイする。
  - 4 何者かがハイ後から忍び寄る。
  - 5 後ハイの指導に力を注ぐ。

問題 12 次のうち「感心」の同意語として最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 敬服                      2 普遍                      3 変遷                      4 意思                      5 賛成

問題 13 次のうち「精密」の反意語として最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 荒行                      2 粗雑                      3 消滅                      4 遅延                      5 解放

問題 14 次の語句の意味として最も適当なものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

- (1) シミュレーション
- 1 欲求の充足が内部または外部の原因によってさまたげられた状態のこと。
  - 2 新機軸。革新。特に、経済発展の起動力となる技術革新のこと。
  - 3 ことば・文字・身振りなどによって、意思・感情・思考・情報などを伝達・交換すること。
  - 4 現実に想定される場面のモデルを作り、それにより種々の状況に応じた実験・分析を行うこと。
  - 5 催し物で、人寄せのために添える出し物のこと。
- (2) 怪我の功名
- 1 物事が成功すること。また、やってきたことにより結果が得られること。
  - 2 失敗したことが、かえってよい結果につながること。
  - 3 失敗によって成功が得られるのだから、いわば失敗は成功のもとだといえるということ。
  - 4 妻または夫が家にあつて陰ながら相手を助け、盛り立てる功績のこと。
  - 5 年をとって経験をつむこと。また、その経験の力のこと。

(3) 三顧の礼

- 1 初めての経験をすること。また、初めての機会に試練を受けること。
- 2 生活にゆとりができて初めて人は礼儀に心を向けることができるようになること。
- 3 人に仕事を頼むのに、何度も訪問して礼を尽くすこと。
- 4 仲のよい間柄であっても、度が過ぎてなれなれしくなるのは避けるべきということ。
- 5 子は親に対して礼を重んじ、孝を尽くさなくてはならないこと。

(4) 竜頭蛇尾

- 1 見かけは立派であるが、実質が伴わないこと。
- 2 初めから終わりまで、態度や方針が、ずっと同じで変わらないこと。
- 3 物事を完成するとき、最後に付け加える肝心な部分のこと。
- 4 初めに抱いた望みや志を、最後までくじけず貫いて達成すること。
- 5 最初は勢いがよく盛んであるが、終わりになると衰えてしまうこと。

(5) 巧言令色

- 1 言葉をうまくかざり、顔色をうまくつくろうこと。
- 2 優れた才能を持ち、また容姿も美しい人のこと。
- 3 人はそれぞれ好みや意見が異なっているということ。
- 4 くもりがなく明らかなこと。意見などが偏っていないこと。
- 5 何度も頭を下げて、頼んだり、感謝するさま。

問題 15 次の意味を表す言葉として最も適当なものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

(1) 青年が成熟した社会人に達する前の猶予期間のこと。

- |          |            |          |
|----------|------------|----------|
| 1 モラトリアム | 2 インターンシップ | 3 ホームステイ |
| 4 サマータイム | 5 シーズンオフ   |          |

(2) 大したことはないと決めて掛かって、軽く見ること。

- |         |         |          |
|---------|---------|----------|
| 1 鼻が高い  | 2 高をくくる | 3 呼び声が高い |
| 4 高みの見物 | 5 高くつく  |          |

(3) その人の能力や才能、資質などを考慮して、適した部署や任務に配すること。

- |        |        |        |
|--------|--------|--------|
| 1 時代錯誤 | 2 情状酌量 | 3 天下御免 |
| 4 適材適所 | 5 欠席裁判 |        |

問題 16 下線部の言葉の使い方が正しいものを一つ選択せよ。

- 1 相手に本当のことを言わせようと鎌を掛ける。
- 2 故郷の空に思いを走らせる。
- 3 野球大会で優勝し、弱小チームの汚名を晴らす。
- 4 一人ひとりの声に耳をかしげる。
- 5 誤りを指摘されて、目から火が出るほど恥ずかしい。

問題 17 次の記述に当てはまる人物の名前として正しいものを一つ選択せよ。

この人物は、明治 19 年（1886 年）岩手県生まれである。岩手県渋民村で育ち、盛岡中学五年の時に中退し上京するが、病気で帰郷した。その後、第一詩集『あこがれ』を出し、天才的浪漫詩人の名を得たが、貧しさと胸の病のため、27 歳の若さで病死した。

歌集に『一握の砂』『悲しき玩具』、評論に『食ふべき詩』などがある。

- |         |         |        |
|---------|---------|--------|
| 1 与謝野晶子 | 2 石川啄木  | 3 正岡子規 |
| 4 斎藤茂吉  | 5 芥川龍之介 |        |

以 上